

BELIEVE

BELIEVE



2012  
夏号  
VOL.41

BELIEVE

## ● 新生児医療とNICU・GCU

● シリーズ 情熱の白衣・看護師レポート



青いパイナップル  
耳をつけると  
水の流れる音がする

青 緑 黄色 茶色 桃色  
そして 赤をふたつ  
元気になった、パイナップル

さあ たくさん光を浴びて  
みんなのお口に  
いらっしやい

青いパイナップル 岩崎 菜摘子 ・制作年/2005 ・素材/ペン ・100×148mm

サインペンを何十本も並べるとうっとりします。色は、なぜこんなにたくさんあるのでしょうか？ なぜひとつひとつ、こんなに美しいのでしょうか？  
私は米粒のような粒子に色分けて、ひとつひとつ丁寧に塗り、半分ぐらい描くと気持ちが紙の上に表れてきます。最後の一粒を描くと、そこには言葉が生まれます。  
私は自分の考えを伝えることが苦手だけど、絵は私にとっての本当の言葉なのです。

〈大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています〉

### 大阪赤十字病院の基本理念

わたくしたちは人道・博愛の赤十字精神に基づき  
すべての人の尊厳をまもり  
心のかよう高度の医療をめざします

### 患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します





新生児・未熟児科 部長  
**金岡 裕夫** KANAOKA HIROO

〈略歴〉  
 1972 京都大学医学部卒業、小児科入局  
 1974 大阪赤十字病院小児科  
 1984 大阪赤十字病院未熟児養育医療責任者  
 1991 大阪赤十字病院小児科副部長  
 2005 大阪赤十字病院第二小児科部長  
 2007 大阪赤十字病院新生児・未熟児科部長  
 2011 大阪赤十字病院付属大手前整肢学園園長

〈主な活動・資格〉  
 1976 日本小児科学会評議員  
 1977 大阪小児科学会運営委員  
 1990 日本小児科学会認定専門医  
 2004 日本周産期・新生児医学会暫定指導医  
 2008 日本周産期・新生児医学会  
 新生児蘇生法専門コースインストラクター

Neonatal Intensive Care Unit Growing Care Unit  
**とNICU・GCU**  
**NICU**

やんの出生が予想される場合、できれば生まれる前に母体ごと搬送するのが望ましく、搬送先で新生児の治療にあたる新生児科医が立ち会って、生まれた瞬間から治療を始める必要があります。

特に超低出生体重(出生体重1、000g未満)の新生児や集中管理の必要がある疾患を持った新生児の場合には、NICU(新生児特定集中治療室—Neonatal Intensive Care Unit)で対応しなければなりません。

NICUは新生児専用の集中治療室(ICU)で、部屋そのものも細菌などからの感染を予防するためのフィルターを持った空調設備があり、温湿度もコントロールされ、赤ちゃんは保育器の中で必要な処置・治療を受けます。人工呼吸の必要な赤ちゃんも多く、状態を把握するために保育器と赤



NICU/保育器の中で赤ちゃんに必要な処置を行います

新生児が一般の産院では対応できないような早産低出生体重の場合や呼吸循環・感染・奇形・重症仮死などの疾患を持っている場合には、速やかに周産期医療センターなどの病院に移す必要があります。また、生まれたばかりの小さな赤ちゃんの搬送はリスクが大きいので、そのような赤ちゃん

日本における新生児・未熟児医療の発展は1960年代各地に未熟児センターが設立されたところから始まっています。しかし、当初は保育器に収容し酸素を流す程度の医療でしかなく、私が医師になった1972年頃でも未熟児に人工呼吸をするという概念はなく、出生体重1、000g未満の子どもが生育すると話題になるという時代でした。この頃は在胎28週以後が早産で、27週以前はまだ流産でした。爆発的に進歩し始めたのは1970年代後半以降で、その後世界的にも高水準の現在の新生児医療につながるわけです。現在では在胎22週や出生体重300〜400g台の赤ちゃんの生育も珍しいことではなくなりました。その進歩にNICU・GCUは欠かせないものです。ここではNICU・GCUについて簡単に説明します。



NICU/心臓手術

やんにはたくさんセンサーやアラーム、計測機器が設置されます。ひとりの赤ちゃんに輸液ポンプが5〜10台使用されることもよくあります。

動脈管開存症という超低出生体重児に多い、胎内で開いているが出生後は閉じなければならぬ血管が出生後も閉じずに残り、呼吸や血液の循環が悪くなる心臓の病気などはNICUの中で手術します。

体力も抵抗力も弱い赤ちゃんの治療にあたるため、医師・看護師は24時間態勢で対応しなければならず、点滴ひとつとっても技術的な困難さは、大きな子どもや成人の比ではありません。医療の進歩や高齢出産の増加により超低出生体重で生まれてくる赤ちゃんが増え、NICU病床は慢性的に不足しています。







当院NICU・GCUスタッフ



GCU

# 新生児医療



GCU



GCU / 保育器の中の赤ちゃんをケア

GCU(継続保育治療室ーGrowing Care Unit)は、NICUでの治療である程度状態が落ち着いて人工呼吸や強力な治療なしでも大丈夫になった赤ちゃんが移されます。超低体重を脱して、鼻からのチューブで十分な栄養がとれた赤ちゃんなどがこちらに移動します。緊急搬送された赤ちゃんでも人工呼吸などは必要なく点滴くらいで治療ができる赤ちゃんは、最初からGCUに入院する場合もあります。

重度の脳疾患などがあり、人工呼吸器から長期にわたり離脱できないような赤ちゃんで、そのままの状態自宅に帰ることが予想されるようなときも退院の準備のためにこの部屋に移ることもあります。しかし、一般的には落ち着いた赤ちゃんがほとんどで、人工呼吸器の音や頻回のアラーム音もNICUに比べればとても少なく、落ち着いた雰囲気です。

## ●当院のNICU・GCUについて

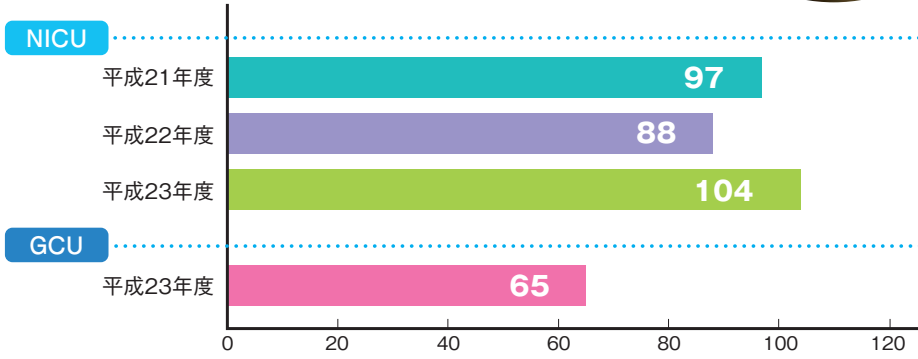
当院のNICUは1994年に未熟児室として発足、2002年にNICUの認可を得て、2011年GCUが開設され、現在NICU6床GCU6床の体制です。2008年に地域周産期医療センターの指定を受けました。日本周産期新生児医学会の暫定研修施設(新生児未熟児科産科)でもあります。

当院の治療実績としては、年間約20〜25人の超低出生体重児・極低出生体重児(出生体重1,500g未満)を含め、直近2年間で百数十〜二百人の赤ちゃんが入院しています。人工呼吸は40〜50人院外で生まれた赤ちゃんの搬送入院は40〜50人、母胎搬送は50〜60人を受け入れています。超低出生体重児の出生や緊急状態は、時間を選んでもくれないので体力的にはとても厳しいのですが、苦勞して小さな赤ちゃんが育ち、NICUからGCU、母子入院を経て退院されていくのを日々経験することは、とてもやりがいのある仕事です。スタッフ一同張り切って、楽しく働いています。

しかし、私が医師になった当時、流産であった在胎27週の赤ちゃんの治療が、今ではそんなに困難ではなく普通の治療になっているように、この分野では到達点というものはなく、いつも目標は先へ先へと行っています。今後も研鑽努力し、一歩一歩治療・生育成績を向上させてゆく所存です。



■NICU・GCU 診療実績(入院患者数のみ)



※GCU施設基準取得はH23.6.1ですが、統計ではH23.4.1～を含んでいます。



# 好井 覚

リハビリテーション科 部長



**SATORU YOSHII** 12月22日、愛媛県生まれ。京都大学医学部卒業。85年より三愛京都病院整形外科科長、済生会野江病院整形外科部長として勤務。95年には京都大学医学部リハビリテーション部主任、07年、関西電力病院において整形外科・リハビリテーション科の部長を兼任する。11年に大阪赤十字病院リハビリテーション科の部長に就任、現在に至る。

最適な治療を見極め、ゴールを越えられるように。人生が変わる医療を提供していきたい。

嘘のように改善する人もいる。リハビリは

最善の治療にもなりません。

好井医師は本来、脊髄や神経が病気やケガで損傷した患者さまを治療する整形外科医。現在はそういった外科手術を行った患者さまの術後の早期回復・予防をサポートするリハビリテーション科医師という、2つの分野に携わってきたキャリアがある。「整形外科の医師がリハビリ科の医師になることはよくあります。手術後、リハビリでどのように早く回復していただくか、患者さまに適切な療法を決めていくために、兼任することもあります」。

好井医師の専門は神経・脊髄の分野。他には脳血管障害、がん、スポーツ外傷や関節外科と、患者さまの病態によってリハビリの範囲は多岐にわたっている。

好井医師がリハビリの効果に驚いたのは、

整形外科医として初めて担当した患者さまの治療にあたったとき。「整形外科医療は手術でよくなら

ることも多いのですが、その患者さまは脊髄を損傷され、手術をしても手足がまったく動きませんでした。それがリハビリで劇的に改善されたんです。患者さまの身体状況や生活スタイルをふまえ、正しいリハビリを行えば、人生を左右するほどの結果をもたらします。外科医療ではまかなえない部分を補うもので、リハビリなしでは成立しない医療があるのだと日々実感しています」。

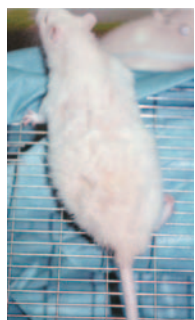
では、リハビリで難しい点は何と聞くと、「患者さまが積極的に取り組めればよいのですが、リハビリをしたくない人もいます。身体が辛い、結果がすぐに表れないなど、回復にはモチベーションの関わりが大きいですね。リハビリでうまく改善してい

くには、患者さまにどんなリハビリが最適なのかを見極めることも大事です。そして『動けるようになった』『食欲が出てきた』など、本人ができる範囲のゴールを目の前に設定すること。『こうなってい

ましよう』というイメージを患者さまに持つてもらうことを心がけています」。

世界で誰もやっていない実験が休日の楽しみ。

入院患者さまだけでリハビリ診療が埋まってしまう現在、リハビリは人対人のマンパワーでこなす医療であるため、診療の質を上げるのが目下の目標。そんな好井医師の休日は、なんと「実験しています」との答え。「神経を再生させる研究を30年近く続けています。世界で初めて、束にしたミクロン単位のコラーゲン繊維だけで神経を再生させ、ラットやウサギの実験で良好な結果が出ています。5年後の臨床応用を目指しており、脊髄の再生が実現すれば、脊髄損傷による患者さまの回復に貢献できると感じています」。



脊髄再生をしたマウスが元元よく柵を上る様子。

病院での診療も休日の実験も、やりがいとするところは、『いかに多くの患者さまを助けられるか』。仕事の延長線上にある研究が好井医師のリフレッシュになっているのは、臨床応用にこぎつけ、さらには成功し、多くの患者さまの役に立てるゴールを見ているからに違いない。

## 看護師レポート◆41

喜びも辛さも、経験して成長できる看護師を育てたい  
**山本 弘恵**



現在、当院に在籍する新人看護師は84名。その新人看護師の研修運営・評価サポートを行っています。4月に担当になったばかりですが、病棟を廻って様子を確認して声をかけたり、各部署の師長や係長などから新人の

状況を聞いたり、早く仕事に慣れるには、どんなサポートが必要なのだろうか考える毎日です。私が看護師になったきっかけは、看護師をしていた、いとこの影響です。看護師の仕事の話をいろいろ聞いていました。看護学校を卒業して助産師学校に進んだのは、子どもが好きで、子どもと関われる仕事をしたい思いがあったのと、もうひとつは看護学校での「母性看護学実習」での体験です。受け持った妊婦さんの状態が悪くなり、その妊婦さんに寄り添いながら、無事に出産するための看護を体験しました。そのときの母と子どもの2つの命に関わる仕事のやりがいに触れたことが、今も印象に残っています。

当院に就職し、産婦人科勤務を経て看護専門学校の専任教員になりました。現場に出たい思いもあつたのですが、自身の学びの中で気付く、成長する学生の様子に、自分自身も初心に戻り、考えさせられることもありました。妊婦さん、学生、新人看護師との関わりは、立場は違っても相手と向き合い、何ができるのかを考えることは同じ。看護と教育はどこか通じるものがあるように感じますね。

休日は近くに住む姪っ子甥っ子と遊んだり、美味しいスイーツを友人と食べに行くのも好きですね。デパ地下巡りをするときもあるのですが、最近は家でアロマをたいてリラクセスして過ごしています。

看護は型通りのものではなく、患者さまに応じたケアが大切です。喜びだったり、辛さだったり、「やっていてよかった」と思える成功体験を通じて成長していつてほしい。新人看護師にとって、病棟外でも気軽に話を聞いてもらえる存在になれるようサポートしていきたいと思っています。



姪っ子(5歳)甥っ子(3歳)に元気をもらいに遊びに行くこと。「ふたりには「ねえねえ」と呼ばれています」。

**HIROE YAMAMOTO**

5月26日、大阪府生まれ。京都府立看護学校卒業、大阪赤十字病院助産師学校卒業。91年より大阪赤十字病院に就職。産婦人科病棟の看護勤務を経て97年、大阪赤十字看護専門学校専任教員になる。06年に看護係長に。今年4月より看護部の新人教育担当として新人看護師の指導・教育運営に携わっている。



# 日本の行事とお食事

栄養管理課 管理栄養士 大石 麻衣

今年度は、日本の行事とお食事との関わりをご紹介します。今回は夏の風物詩である「天神祭」と「土用の丑」についてお話ししたいと思います。

## ● 第2回 夏の行事食

### 天神祭

天神祭は、日本三大祭のひとつ(他は京都の祇園祭・東京の神田祭)、全国の天満宮で催されています。祭神である菅原道真の命日にちなみ、毎年7月25日前後に行われます。特に大阪天満宮での天神祭は有名で、25日の本宮の夜は、大川に多くの船が行き交う船渡御(ふなとぎ)が行われ、奉納花火が打ち上げられます。

天神祭の際には、「鰻(はも)」を食すのはご存じでしょうか? 鰻といえば、関西では夏の味覚として欠かせない味。「梅雨の水を飲んで美味しくなる」と言われ、産卵時期を迎える入梅時から脂が乗り始め、身も柔らかくなつていきます。関西独特のこの習慣、大阪天神祭や京都の祇園祭は「鰻祭」とも呼ばれています。

### 土用の丑

夏にうなぎが売れないと嘆く鰻屋さんが、物知りの平賀源内(へいがげん)にうなぎが売れる良い方法はないかと相談に行つたところ、「丑の日に『う』の字がつく物を食べると夏負けしない」という民間に伝わる話をヒントに、「本日、土用の日」と書いた張り紙を張り出して



商売をした。すると大繁盛! 土用の丑の日のうなぎの蒲焼きは、鰻屋さんの売上対策だった。...といつのは有名な話です。

実は「うなぎ」にはビタミンA、ビタミンB群、ビタミンE、ビタミンD、DHA、EPAと、夏バテを乗り切る栄養素がたくさん含まれており、土用の丑にうなぎを食べるのは理にかなつていゝといえます。

今年の土用の丑は、7月27日(金)。今から蒲焼きの香ばしい香りが待ち遠しいですね。とはいえ、近年うなぎの価格が高騰しているのが胸を切なく締めつけます...

# お薬

## お薬の副作用

薬剤部 菊田 裕規

### ■副作用って?

患者さまの中にはお薬を飲む際、「副作用が心配で...」や「副作用が怖いからなるべく飲みたくない」など、効果よりも「副作用が...」という声を耳にします。では「副作用」についてよく考えてみましょう。

### ■副作用の個人差は?

副作用は、体質や体調など、その人によって現れ方が微妙に異なります。お薬は体内に入った後、肝臓で分解され、腎臓で排泄されます。肝臓や腎臓に疾患がある方は代謝や排泄が遅れ、薬が血液中にとどまりやすくなります。つまり、薬が効きすぎの状態になってしまう、副作用が起きることがあります。

### ■副作用を防ぐには?

副作用には、風邪薬を飲んで眠くなったなどの軽い症状から生死に関わるものまでさまざまです。例えば、不快な症状であっても、服用を中止して治まるものであれば、薬を変更する、また副作用を抑えるお薬を用いることで対処することが可能です。

例えば、風邪薬を服用したら眠くなった...誰にでも経験のあることです。この場合、風邪の症状を和らげるというのはお薬の「主作用」、眠くなるというのは「副作用」となります。期待する働きだけ現れるのが理想ですが、そのようなお薬は存在しません。

### ■副作用はなぜ起るの?

①薬は必要なく作用することが理想ですが、血液と一緒に全身を回るため、予想しないところで作用が現れる場合。  
②予想していたよりも強く効果が現れてしまい、必要以上の効果を示す場合。  
以上の2通りがありますが、すべての人に現れるというわけではありません。



「副作用が心配だから」といつ、いたずらに副作用を恐れるのではなく、副作用の正しい知識と理解を持つことが大切です。万が一副作用が現れた場合、勝手にお薬を中止せず、すぐに医師・薬剤師に相談してください。

がんサポートチームからのお知らせ vol.15

## がん性疼痛看護認定看護師の役割

がん性疼痛看護認定看護師 松浦 麻由美

がんの痛みは、がん患者さまにとって最も発生頻度が高い症状であると言われ、生活の質を阻害する一因となります。痛みを緩和することで、現在行っているがんの治療が積極的に進めるようになってきたり、これまでと同じような生活を送りやすくなったり、また精神的にも前向きになれることがあります。痛みを緩和するためのお薬にオピオイド(医療用麻薬)が多く使用されます。オピオイドを使うということは決してがんの末期であるからではありません。早い段階から使用することが効果的であることが多いからです。

私はがん性疼痛看護認定看護師として、がんの痛みが少しでも和らぎ、患者さまが治療を含めた日常生活を送りやすくなるようサポートを行っています。医師から処方されたオピオイドで痛みが軽減しているか、もう少し増量が必要なのか、副作用で苦しんでいるかなど、24時間患者さまのそばにいる看護師として介入し、その方の気持ちや希望を医師

へとつなぐ役割を果たしています。また退院後の生活を考えた痛みの緩和方法を、患者さまやご家族と一緒に考えていきます。

がんの痛みは身体のみではありません。「これから自分はどうなるのだろう」という不安や、「なぜ私にがんになってしまったのだろう」という罪悪感などの精神的なこと、また「今までのように家事ができるか、会社に行つてその役割を果たせるのだろうか」といった社会的なことなど、多くの苦しみや辛さが生じることがあります。さらにはそれらによつて、身体の痛みも強く感じてしまつこともあります。このようにがんになったことで生じた多くの辛さと痛みを和らげることができるよう、患者さまからお話を伺ったり、痛みを和らげることができる方法をお伝えしたりしています。痛みについて疑問や質問があればいつでもお気軽にご相談ください。ソーシャルワーカーと相談しながら患者さまへの橋渡しを行っていきます。

当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。

がん看護相談室 TEL:06-6774-5192 FAX:06-6774-5126  
syakaika@osaka-med.jrc.or.jp  
火・金曜14:00~16:00(予約制) / 本館2階・8番窓口(随時)

### ケース1

50代男性。胃がんで病状が進行し、食事が食べられなくなっている。点滴が常時必要な状態になったが自宅で過ごしたいと考えている。

〈対応〉 介護保険は基本的には65歳以上の方が対象ですが、下記の16特定疾病に該当する40歳～64歳の方は介護保険の申請が可能です(費用は利用したサービスの1割負担となります)。そこで介護保険を申請し、ベッドのレンタルなどの手配を行い、また往診や訪問看護を依頼し、自宅で過ごせる環境を整えました。

#### ●介護保険の特定疾病

1. がん※
2. 関節リウマチ
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 後縦靭帯骨化症
5. 骨折を伴う骨粗しょう症
6. 初老期における認知症
7. 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症およびパーキンソン病
8. 脊髄小脳変性症
9. 脊柱管狭窄症
10. 早老症
11. 多系統萎縮症
12. 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症
13. 脳血管疾患
14. 閉塞性動脈硬化症
15. 慢性閉塞性肺疾患
16. 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

※医師が回復の見込みがない状態に至ったと判断したものに限る



医療ソーシャルワーカー  
今回は介護保険の具体的な事例を紹介したいと思います。  
医療ソーシャルワーカー(MSW)阿曾 愛

## 介護保険の適用について〜応用編〜

### ケース2

70代女性。パーキンソン病で入院。もともと介護認定は受けており、ヘルパーは利用していた。主治医より退院後リハビリを受けたほうがよいといわれた。

〈対応〉 ケアマネージャーに連絡をとり、退院後訪問リハビリを受けられるよう調整しました。(パーキンソン病などの特定疾患の認定を受けている方は訪問看護・訪問リハビリが無料で受けられます。)

### ケース3

80代女性。糖尿病、慢性腎不全で透析を受けている。長男家族と一緒に住んでいるが、仕事や学校で出かけるため日中はひとりになる。認知症がありインスリンがきちんと打てないときがあるため、血糖値が高くなり入院。

〈対応〉 介護サービスはもともと受けておられ、ヘルパーによる日常生活の介助や通院のサポートを受けていました。今回はプランを見直して、訪問看護師に来てもらうよう依頼し、インスリンを朝と晩はご家族が、昼は訪問看護師が実施するというように、協力して確実に打てる体制を整えました。

上記のケースに似た状況で困っておられる方、またこれら以外でも介護のことなどでお困りの方は、当院2階8番窓口(医療福祉相談支援センター)までご相談ください。

## ご意見箱 ~ご意見・ご提案をお寄せいただきありがとうございます~

広く皆さまからのご意見・ご要望を伺うため、各階デイルームにご意見箱を増設してから1年が経過しました。今回は、皆さまからのご意見への回答をいくつか掲載いたします。なお、正面玄関ホールとデイルームにおいてもご意見への回答を随時公開しておりますので、そちらもご覧いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



1階正面玄関

### 皆さまからのご意見

初診受付の受付番号発行機は何のためにあるのか。整理券を持っている私の前を整理券を持たない人が受付に話しかけ、係の人は次々に対応している。



**A** 当院における初診受付の方法は、初診受付に整理券の発行機があり、初診の患者さまに整理券を取っていただき、8時30分から番号順に初診業務を行っています。当院では、初診受付の隣に総合案内を設置し、初診受付業務と総合案内業務の両方を数名のスタッフで対応しています。総合案内でお受けするお問い合わせによっては、端末での確認作業を伴うことがあり、あたかも整理券の順番とは別に初診受付を行っているような印象をお持ちになられたのではないかと推察しております。

今後とも病院運営にご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 皆さまからのご意見

デイルームの献立表にカロリー量・塩分量を盛り込んで欲しい。



**A** すぐに対応することは難しいですが、栄養管理課としても必要性を感じております。今後、献立のレイアウトも含め、検討していきたいと思っております。

### 皆さまからのご意見

館内照明で白熱灯が使用されている箇所があるのでLEDに更新すべし。仮に100W×100個=10KWが1/10以下になる。

**A** 現在、管内照明の省エネにつきましては、患者さま・ご来院の方々に危険のないよう、廊下やベランダ、エレベーターホール等において実施しております。ご指摘いただきました電灯の更新についても、白熱灯設置が必要な場所以外はコンパクト蛍光灯、LED灯、に随時更新しているところです。

また、当院では現在の社会情勢に配慮し、7月2日より下記節電対策を実施しております。ご来院の皆さま方にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

- 施設内共用部の照明を一部消灯しています。
- 電力ピーク時間帯(13時～16時)において、エスカレーターの稼働を休止しています。
- 院内空調機の調整により施設内温度を制御しています。
- 館内トイレの洋式便器ウォシュレットにおける洗浄水温度を最低温度に設定及び便座ヒーターを休止しています。



## Event ANAさまから「しあわせ」が届きました

6月8日(金)、ANAグループの皆さまがご来院され、すずらんを寄贈していただきました。昭和31年以来、今年で57回目を数えるすずらの寄贈は、当院をはじめ全国47の赤十字施設で行われました。



すずらんには「しあわせ」という花言葉があり、北海道で栽培されたすずらんを、ANAスタッフの方々が手作りで押し花のしおりにして

届けられました。

当院では、隠岐病院長出席のもと寄贈セレモニーが行われ、続いて客室乗務員と地上旅客係員の皆さまが、受付や病棟などで患者さまやご来院の方々にお配りいただき、手にした方々はその愛らしいしおりをうれしそうにご覧になっていました。



## Drill 10月1日(月)院内災害訓練を実施します

災害拠点病院に指定されている当院では、毎年、近隣地震災害を想定した実践型訓練を行っています。今年は10月1日(月)午後に行う予定で、訓練中は救急センターを含め全科休診とし、病院敷地内への立ち入りや建物への出入りが規制されます。

当日、予約のない初診等の診療受付は、午前10時で終了させていただきますのでご注意ください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



いずれも昨年の災害訓練の様子

## Seminer 市民公開講座 「肺がん」見つけ方と治し方(仮題)

- 開催日時/平成24年10月27日(土) 13:30~15:00
  - 開催場所/大阪赤十字病院 4階 講堂A
  - 講師/大阪赤十字病院 呼吸器科部 副部長 若山 俊明
  - お問い合わせ先/診療情報管理課 06-6774-5111(内線2302)
- 一般の方を対象とした公開講座を開催いたします。知りたいけれど聞く機会がなかったさまざまなことを専門の医師がわかりやすくお話ししますので、お気軽にお越しください。
- 参加費は無料、事前のお申し込みは不要です。ぜひ、ご来場ください。

## News ボランティア募集

院内で医師・看護師・その他職員と協力し、患者さまが少しでも快適に安心して治療が受けられるよう、介助等のサービスを提供するボランティアの活動をはじめませんか?

興味のある方、より詳細な情報が知りたい方は、下記までお問い合わせください。

- 活動日と時間/毎週月・火・木・金…9:30~15:30  
毎週水曜日…9:30~12:00

※病院休日の活動はありません。

- 活動開始までの流れ  
面接および見学→体験ボランティア(4回)→正式登録→活動開始
- 対象者/65歳までの健康な方
- お問い合わせ先/医療社会事業課 06-6774-5192

## 編集後記

今号から、表紙を担当されている作家さんが変わりました。バックナンバーを読み返しながら思うことは「表紙が素敵だなあ」ということ。この1年も楽しみにしてください。それから『びり〜ぶ』が今年で10周年を迎えているという重大な(?)事実にも気づきました。『びり〜ぶ』の制作に携わってまだ日も浅い私ですが、10年前のものでも、ぜんぜん色褪せていません。再掲載したいくらい役立つ情報がたくさん発見できるのです。すべてのバックナンバーは当院ホームページにて公開中です。ぜひアクセスしてみてください。今後ともよろしく願いいたします。(Y.F)

## Event 「あじさいコンサート」開催

6月10日(日)午後2時から2階総合ホールで、「あじさいコンサート」が開催され、当院職員が中心に出演しました。

今回、第1部では「日赤合唱団」により「ハナミズキ」をはじめ、5曲の合唱曲が各曲のエピソードとともに披露され、第2部では、「日赤カルテット」によりカッチーニの「アヴェマリア」や「上を向いて歩こう」が、弦楽四重奏で披露されました。

当日は200人を超える観客が来場され、普段の受付がコンサート会場になり、病院でコンサートに接したことを喜ぶ声や演奏に歌声を重ねて楽しんだという声をいただきました。

→ 次回は、9月9日(日)の開催を予定しています。どうぞご期待ください。



## Report 赤十字運動月間

~ご協力ありがとうございます~



日本赤十字社は毎年5月・6月を「赤十字運動月間」として、赤十字の理念や活動を皆さまに知っていただき、活動資金のご協力をお願いしております。

当院でも5月に院内数カ所に募金箱を設置し、皆さまから12,273円のご寄附をいただきました。ご協力ありがとうございました。

# 外来診療担当表

平成24年7月1日現在


午前診療 午後診療

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		津村	中島	邊見	木村	齋藤	
		松田史	金坂	圓尾	喜多	幡丸	
		関川	岡部	大崎往	米門	圓尾	
		大原		坂本	竹田		
		津村	中島	邊見	井口	齋藤	全て予約制
		松田史	金坂	丸井	奥	幡丸	
		関川	岡部	福原	米門	佐田	
消化器科(肝臓外来)		喜多	大崎往	木村	那須	西川	午後は予約制
糖尿病・内分泌内科		米光	松尾	金井	武呂	南部	午後は予約制
		南部	金井	武呂	隠岐(予約)	米光	
血液内科 (移植外来)		藤井	水谷	中村	金子	平田	全て予約制
		金子	平田	通堂	水谷	通堂	
		辰巳	水谷	松本	金子	平田	
		豊岡	稲田慎	通堂	豊岡	岩井	
					藤井	馬場	
リウマチ・膠原病内科		村上	村上	村上	中島	伊藤	全て予約制
腎臓内科		菅原	川西	大崎啓	小川	越川	全て予約制
		越川	小川	菅原	川西	菅原	
		菅原	川西	大崎啓	小川	越川	
		越川	小川	菅原	川西	大崎啓	
循環器科		担当医	田中	伊藤	長央	福地	全て予約制
		林	伊藤	稲田司	牧田	稲田司	
		林	田中	伊藤	長央	福地	
不整脈科		内山	牧田		牧田		全て予約制
心臓血管外科			中山(予約)	中山(初診)		中山(初診)	全て予約制
			藤岡	藤岡		坂本	
小児科		(血液外来)	(リウマチ・アレルギー外来)	(腎臓外来)	(血液外来)		血液外来は予約・紹介のみ
		藤野	住本	坂本	金岡		
		安西	瓦林	肥田	正岡	新居	
小児外科		松川		松川			
		福田	片岡	細木	河野	中島研	注)緩和ケア外来の診察は2Fのがん看護相談室となります。
		花房	金谷	中島康	有本	岡田	
		山浦	有本	鈴木	岡村	金澤(初診)	
		露木	山口	奥村	(乳癌新患)	川田	
	福田	片岡	細木	萩原	中島研		
外乳腺外科		花房	伊藤	中島康	有本	馬場園	注)緩和ケア外来の診察は2Fのがん看護相談室となります。
		山浦	(再診・予約)	鈴木	河川	(再診・予約)	
		露木	(乳癌新患)	奥村	(乳癌再診)	川田	
		渡邊	鈴木	坂本	大浦	富原	
		富	(第1・3・5週福田)	堤	坂口	正本	
整形外科		(脊椎外来)	(膝関節外来)	福田	(スポーツ・肩外来)	(脊椎外来)	専門外来は予約のみ
		富	富	堤	堤		全て予約制
リハビリテーション科		好井	好井	好井	好井	富原	
脳神経外科		担当医	山下	担当医	山下	朝日	予約・紹介のみ
		担当医	朝日	担当医	西村	米田	
		担当医	土井	担当医	吉岡	担当医	

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
神経内科		金田	峠	中村	鈴木	加藤	全て初診のみ
		鈴木	加藤	金田	加藤	鈴木	全て再診のみ
呼吸器科		(喘息外来を兼ねる)			西坂	若山	※禁煙外来は午後のみ
		(吉村)			中村	(喘息外来を兼ねる)	
		網谷	西坂	花岡	中村	若山	
		花岡	中川	若山	長野	網谷(予約)	
		中村	長野				
呼吸器外科		(セカンドオピニオン外来)	中出	渡辺		川邊	※手術相談外来は予約制
		中出	渡辺	田中		山崎	
産婦人科		西川	古田	午前:頼	泉	午後:河原	午後は再診のみ
		泉	松尾	河原	吉岡	担当医	※月～金曜日 助産師外来あり
泌尿器科		岩村	光森	光森	西村	岩村	全て予約制
		河野	住吉	前野	前野	光森	全て予約制
		西村			住吉	河野	
		岩村	光森		(前立腺外来)		
	河野	住吉	前野	(婦人尿失禁外来)	住吉		
眼科		高橋(初診)	秋元(初診)	石井(初診)	岡本(初診)	岡本(初診)	〈火・木〉 初診は紹介のみ 再診は予約のみ
		秋元	田口	秋元	廣井	田口	
		廣井	石井	田口	高橋	石井	
		午前:岡本 午後:石井 担当医		午前:高橋 午後:廣井 午前:担当医 午後:岡本 (未熟児外来)	高橋	(黄斑外来2-4週)	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科		小山	平塚	山原		平塚	
		山原	小山	小山		山原	
皮膚科		立花	立花	堀口(予約)	立花	加畑	全て予約制
		小野	加畑	小野	加畑・小野	太田	
		大西	太田	中島	大西	大西	
形成外科		重吉	岩井	重吉	内藤	内藤	
精神神経科		吉田	早川	吉田	早川	吉田	
		久保	清水	清水	植野	早川	
放射線診断科		藤堂	塩崎	前倉	小山	岡田	診断
		前倉	(外科)	塩崎	(外科)	福富	検査(透視)
		岡田・小嶋	藤堂・小山	小山・岡田	小嶋・塩崎	前倉・小山	検査(CT)
		小山	前倉	福富	岡田	大谷	検査(MRI)
		塩崎	岡田	(循環器科)	大谷	藤堂	検査(RI)
		小山・前倉	福富・塩崎	塩崎・前倉	岡田・前倉	大谷・塩崎	検査(CT)
放射線治療科		岡田	小山	岡田	塩崎	前倉	検査(MRI)
		塩崎	前倉	藤堂	小山	岡田	検査(RI)
		石垣	中村	担当医	中村	石垣	
歯 口腔外科		中村	石垣	担当医	石垣	中村	
		中村	石垣	担当医	石垣	中村	
歯 口腔外科		井上	杉立	本橋	担当医	担当医	全て初診(紹介)のみ
		杉立	本橋	杉立	手術	杉立	全て再診(予約制)

- 受付時間(月～金) (診療開始は午前8:45からです)
  - 初診の方/月曜日～金曜日 8:30～11:30 ●再診の方/月曜日～金曜日 8:00～11:45
- 休診日 ●土曜日・日曜日・祝日・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日
- 診察券 ●診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会(病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護士にご相談ください)
  - 平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00 ●小児病棟(平日・休日とも)/14:00～19:00
- 保険証等 ●保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

■平成22年12月1日より  
当院は敷地内全面禁煙です



当院は平成22年12月1日より、敷地内全面禁煙を実施します。ご理解とご協力をお願いします。

異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科のご案内をご覧ください。各料外来にお問い合わせください。

**お問い合わせ/TEL:06-6774-5111(代表)**  
 (大阪赤十字病院) <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>  
 (赤十字全般) <http://www.jrc.or.jp/>

